

**学校教育目標：自ら学び、たくましく生きる力と豊かな心を持った子どもを育てる**

「あんしん あったか やさしく 元気！！」な学校を目指して

## 生きる力

「いてっ！！石を踏んで転んじゃった」

子どもがこんな状況になったとき、まわりの大人ができることは何でしょうか？

①「次からどうすれば良いか、よく考えなさい」と言う。

②「次からは転ばないように、石を拾ってから歩きなさい」と声をかける。

③次からは転ばないように、先に石を拾ってあげる。

さて、この答えは、子どもにどういう力を付けさせたいかで決まってきます。

子どもに「二度と痛い思いをさせたくない」と思うなら、③。

転ばないことだけを注意したいなら、②。

石に躓かないだけで無く、この先危険なことから身を守るためにはどうすれば良いかを考えさせたいなら、①。

ここで言う「石を踏んで転ぶ」というのは、言うまでも無く人が人生を歩む上での障害だったりトラブルのことです。

特に小学校時代は、人間としてもまだまだ未熟な子どもたちの集まりです。自分本位になったり、カッとする気持ちを抑えられなかったり、理屈ではわかっているつもりで行動してしまったり、注意されても同じことをしたり、大人からすると「なんでそんなことを？」ということは日常茶飯事です。

これらのトラブルを、子どもにとってプラスになるかマイナスになるかは、周りの大人の対応の仕方で大きく変わります。

ここで、上のたとえに戻ります。

③を選べば、痛い思いはしませんが、自分で危険を取り除いたり、転んだときにどうすれば良いかを判断したりする力は付くのでしょうか？

②を選べば、石に躓かないようにはなるかもしれませんが、その他の危険を回避できるようになるかはどうでしょう？

①を選べば、すぐには答えは出ないかもしれませんが、様々なトラブルに対してどうすれば良いかを自分の頭で判断できるようにはなるのではないのでしょうか。

子ども時代に石に躓いて転ぶことは、その後の人生で「より良く生きるために自分で判断し、自分の責任で行動する」ための大切な経験であり人間としての基礎を学ぶ

絶好のチャンスでもあります。

現行の学習指導要領でも、先日発表された次期学習指導要領でも、一番大きな理念は、子どもに「生きる力」をつけることです。

また、教育基本法第1条には、教育の目的として「人格の完成を目指す」と記載されています。

目先のことに囚われず、10年後、20年後に子どもが社会の中で自分の力で生きていくためには、小学校時代に何を身につけさせれば良いか。

子どもに寄り添う気持ちを持ちつつ、子ども自身が「自分の力で解決する」ことを支援してあげてほしいと思っています。

今回は、本校の教育目標にもある「たくましく生きる力」に焦点を当ててみました。

### □ 6月の主な行事予定

- 20日 (火) 1・2・6年 授業参観懇談会
- 21日 (水) 6年こころの劇場 湘南台学級じゃがいも掘り
- 22日 (木) 3・4・5年 授業参観懇談会
- 26日 (月) ミニ集会
- 27日 (火) 4年プラネタリウム見学
- 28日 (水) クラブ活動 (4年見学)  
5年スポーツテスト
- 29日 (木) 湘南台学級校外学習  
5年スポーツテスト
- 30日 (金) 引き渡し訓練  
PTA会費集金  
給食費引落日 (6月分)



### □ 7月の主な行事予定

- 3日 (月) 朝会
- 4日 (火) 湘南台学級 授業参観
- 5日 (水) 委員会活動
- 7日 (金) 6年プラネタリウム見学
- 18日 (火) 給食終了
- 20日 (木) 1学期終業式
- 26日 (水) 市内水泳大会 (5・6年希望者)



### □不審者について

不審者を見かけたり被害に遭ったときは、ためらわずに110番または藤沢北警察署(45-0110)に連絡し、その後学校にご連絡ください。

少しでも早く対応するためということで、警察より依頼がありました。

## □ 5年八ヶ岳野外体験教室



5月25日～26日にかけて、5年生が八ヶ岳野外体験教室に行ってきました。あいにくの雨模様でしたが、プログラムを上手にやりくりしながら、ほとんど全てのプログラムを消化しました。

1日目は、ベジタボールウィズに行った後、体験教室に入り、かまどで火を燃やして、バームクーヘン作りをしました。この日のために、学校で事前に火起こしの練習もしました。

夜は雨もやんだため、屋外で予定通りキャンプファイヤーをしました。工夫を凝らした出し物やダンスなどで盛り上がりました。

2日目は少し距離を短縮しウォークラリーをしました。山の中の幻想的な雨模様も満喫しました。

2日間日常と違う空間で仲間と過ごした思い出は、きっと子どもたちの心の中に刻まれたことでしょう。

## □ 6年生がプールをきれいにしてくれました

プール開きを前に、6年生がプール清掃をしてくれました。昨年の夏からたまっていたプールの汚れをものともせず、全員が本当によくがんばってくれたおかげで、15日から予定通りプール学習が始まりました。

それにしても、今年の6年生は、まわりのために本当に良く動いてくれます。文句一つ言わず一生懸命取り組んでくれる姿を見ていると、こちらの心も洗われます。

これからもよろしくね、6年生。



## □いろいろな先生方がお手伝いしてくれています

現在、市内の学校では、1人1人の子どもたちにきめ細かく対応するために、授業中に様々な先生方が教室に入っています。本校でも、特別支援非常勤講師、介助員、新入生サポート講師、学生ボランティア等の方々が日替わりで子どもたちと関わってくれています。

教室に複数の大人がいることがありますので、ご承知置きください。

## □先生方の英語研修



平成32年度から全面実施される新学習指導要領では、3・4年生で外国語活動、5・6年生で英語を学ぶことになりました。それに備え、本校では今年度より放課後の時間を使って、中学校の英語の先生方を講師に迎えた英語研修を行っています。

「大切なことは間違えないことでは無く、英語を楽しむこと」と教わりながら、会話やゲームなどに取り組んでいます。湘南台小学校の先生方は非常にノリが良く、講師の先生からも「皆さん積極的で大変素晴らしい」とお褒めの言葉を頂きました。児童の皆さんに少しでも成果が伝わるよう、頑張ります。

Are you hungry? Yes, I am. 「おなかがすいていますか?」「はい!!」

(研修中の英会話より)

## □教育相談について

学校には、教育相談等のために、スクールカウンセラーが配置されています。

(石井円香先生)。子育てについて、子どもの発達について、保護者としての悩み、家庭内のこと、関係機関と相談したいなど、心理の専門家と相談したいときなどは遠慮無くお申し出ください。教育相談センターや児童相談所などへの橋渡しもできます。

学校での勤務日は、毎週木曜日と第2・4火曜日です。希望がある場合は学校までお知らせください。

また、今年度より、三森富美子先生が児童支援担当教諭として、子どもたちの支援や保護者との相談を行っています。

スクールカウンセラーと同様、相談等の希望がありましたら、学校までご連絡ください。